

JACET Kansai Newsletter

No. 82 November 1, 2018

一般社団法人大学英語教育学会関西支部 (JACET Kansai Chapter)

支部長: 小栗 裕子 (関西外国語大学) (Chapter President: Yuko OGURI, Kansai Gaidai University)

事務局: 〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155 関西学院大学法学部 石川圭一 研究室内
(Chapter Office: c/o Keiichi ISHIKAWA, School of Law and Politics, Kwansei Gakuin University)

URL: <http://www.jacet-kansai.org/> (関西支部へは左の URL からご連絡ください)

「さあ、冒険だ！」

藤澤 良行 (副支部長)

2018年9月末に学生の引率でニュージーランドのオークランド市に出かけました。学生たちはこれから約5ヶ月間の留学を経験するのですが、留学生活がスムーズにスタートするようという配慮で、出国から1週間だけの付添い(chaperon) をするのが私の任務でした。JACET 会員の中にはご経験の方が多いと思いますが、付添いは結構気を使う仕事であり、学生の成長を間近で見ることのできる機会でもあります。

土曜日に日本を発ち、日曜日の朝現地に着くと、学生たちはそのままホームステイに入るスケジュールなので、彼らにとってはいきなり英語を使う本番がスタートします。授業だと先生はそれなりに学生の英語力に合わせてくれますが、相手がホストファミリーだとそういうわけには行かないことも多く、彼らが一番緊張する場面になります。私たち付添いとは翌月曜日の朝の授業開始前に会うことになっているので、ホームステイ先に着いたら自分で話をするしかなく、そこに逃げ場はありません。多くの学生にとって人生で初めて本気で英語を使う機会です。そのための準備を日本での授業ですずっとやってきたはずなのに、彼らは自分が思っている以上に、ホストファミリーとコミュニケーションをとるのに苦労をすることが多いです。

月曜日の朝大学に次々と到着してくる学生たちは、私たちや友人たちの顔を見て心底ホッとした表情を見せます。そして日曜日はどのように過ごしたかを心得と話します。とても優しく大事にしてもらえた学生もいれば、思ったほどは歓迎されていないと感じた

(本当はそうではないことが多いですが) 学生もいます。とにかく最初のハードルを何とか乗り越えることで、不安が少しだけ解消されるようです。

オークランド市では、ホームステイ先から大学まで各自がバスを利用して登校することになっていて、1時間ぐらいの乗車時間が必要な学生もおり、これも学生を緊張させる原因になっています。何番のバスにどこから乗るか、そしてどこで降りるか。バスは何時に来るのか。乗車中に寝過ごすことはないのか。最寄り

のバス停で降り損ねたらどうすればいいのか。特にバス内では次の停留所を知らせるアナウンスがないことが彼らにとっては不安の原因です。何度か乗り降りを間違えたり、現地の人の助けを借りながら、毎日バスを利用しているうちにだんだんと順応するのが普通です。ところが、最近はグーグルマップのアプリを使い、自分がどこにいるのかをスマートフォンのGPSで確認しながら、降りるべきバス停を確かめるという方法が取られていて、便利になったものだと感心します。でもその分だけ外の景色を観察することが減り、それはそれでどうかと思います。尤もこれは単に新しいアプリについていけないアナログ世代(私のこと)の僻みでしょう。

学生たちは一日一日新しい経験をしながら、徐々に英語を使う生活に慣れていきます。彼らにとって初めてかもしれないリアリティ満載の英語使用です。もちろん日本ででもできないわけではないと私は考えていますが、何のために英語を勉強するのかを初めて実感したと言う学生もいます。逆に言うと、それだけリアリティのある内容を日本での普段の授業でできているのかという私たち英語教育に携わる者への強烈的な批判なのかもしれません。

兎にも角にも、自分の人生で初めてと言える冒険を学生たちは始めました。無事に、そしてひと回りもふた回りも大きくなって帰ってくることを願います。例年アイスクリームなど美味しいものを食べ過ぎて大きくなってくる学生もいますが、留学から帰ってきた彼らが見せる、なんとかやり遂げたという達成感は何物にも代え難いものがあります。その姿は少し羨ましくもあり、彼らが今後さらに成長するにはどうすればいいのかを私たち教師としては考えることになりました。留学に出かけた学生が自分の殻を内側から破るほどの経験をして帰ってくることを祈ります。

さて、実りの秋です。支部大会にぜひお越しください。新しい出会いが、新しい何かが、見つかるかもしれません。さあ、冒険だ！(大阪樟蔭女子大学)

■ 2018 年度第 2 回支部講演会の報告 ■

2018年度第2回支部講演会（「海外の外国語教育」研究会による講演（シンポジウム））が、2018年10月13日(土)に、同志社大学今出川キャンパスにて開催されました。47名の参加者があり、盛況でした。普段知ることのない、EU諸国の外国語教育の実情と授業例をご紹介いただきながら、日本との違いと今後の課題を考えさせて頂く良い機会となりました。

日時：2018年10月13日（土）15:30～17:00

会場：同志社大学 今出川キャンパス

シンポジウム：

「国際的にみた日本の外国語教育への提言－EUの教育政策から考える－」

演題と講師：

- (1) 「スペインの外国語教育制度からの示唆」
植松 茂男 先生（同志社大学）
- (2) 「イタリアの外国語教育制度からの示唆」
二五 義博 先生（海上保安大学校）
- (3) 「オランダの外国語教育制度からの示唆」
高坂 京子 先生（立命館大学）
- (4) 「ドイツの外国語教育制度からの示唆」
杉谷 眞佐子 先生（関西大学名誉教授）
- (5) 「‘Happy Slave Syndrome’からの覚醒」
大谷 泰照 先生（大阪大学名誉教授）

The Kansai Chapter Second Lecutere Meeting of the 2018 academic year organized by SIG on "Research on Foreign Language Education Abroad" was held on Saturday, October 13th at Doshisha University Imadegawa Campus with 47 participants. The speakers reported issues and practices in language education in the European Union with specific classroom examples and discussed possible implications for language education in Japan. The participants were given a lot of information and provided with a good opportunity to rethink their own teaching practices.

Date : October 13 (Sat), 2018, 15:30-17:00

Venue: Doshisha University, Imadegawa Campus

Symposium:

Foreign Language Education in Japan from International Perspectives: Educational Policy Implications from Findings in the EU

Panelists:

OTANI Yasuteru, Prof. Emeritus, Osaka University
UEMATSU Shigeo, Prof. Doshisha University
NIGO Yoshihiro, Prof. Japan Coast Guard Academy
KOSAKA Kyoko, Prof. Ritsumeikan University
SUGITANI Masako, Prof. Emeritus, Kansai University

■ 2018 年度関西支部大会のお知らせ ■

2018 年度の関西支部大会を以下の要領で開催します。

日程：2018年11月17日（土）10:00～18:15

場所：関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス

大会テーマ：英語教育の今とこれから

基調講演：Tim McNamara 先生（メルボルン大学）

“Fairness and Justice in Language Assessment”

特別講演：新谷奈津子 先生（神戸学院大学）

“Written Corrective Feedback: Issues in Past and Current Theory and Research”

特別講演：Tom Gally 先生（東京大学）

「機械翻訳と英語教育」

企画シンポジウム:仁科恭徳 先生(神戸学院大学) 吉

村征洋 先生(摂南大学) 藤原康弘 先生(名城大

学) 廣森友人 先生(明治大学) 鎌倉義人 先生

(愛知大学) 桐村亮 先生(立命館大学) 吉川祐

介 先生(近畿大学)

「映画を使う、映画を作る：学生の理解を深めモチ

ベーションを高めるための英語授業の新展開」

JACET関西支部紀要編集委員会主催

「論文採択のためのランチミーティング」

その他、研究発表5件、実践報告9件、ポスター発表1件、コロキウム1件など

*詳細は同封のプログラムをご参照ください。

懇親会の申込について

◆事前申込みのうえ、当日支払いをお願いします◆

日時：11月17日（土）18:30-20:30

場所：関学会館 翼の間

会費：3,000円（大会当日に受付でお支払いいただきます。当日申込の場合は、会費が4,000円となりますのでご了承ください。）

申込方法:大会フライヤーやプログラムに掲載してあるURLあるいはQRコードにアクセスし、申込フォームに必要事項をご入力ください。受付完了メールの受信をもって事前申込が完了します。

締切：11月7日（水）

* Kansai Chapter 2018 Conference *

Kansai Chapter 2018 Conference will be held as follows.

Date: Saturday, November 17, 2018, 10:00-18:15

Venue: Kwansai Gakuin University

Nishinomiya-Uegahara Campus

Conference Theme: English Education, Present and Future

Keynote Lecture: Prof. Tim McNamara

(University of Melbourne)

“Fairness and Justice in Language Assessment”

Special Lectures I: Dr. Natsuko Shintani

(Kobe Gakuin University)

“Written Corrective Feedback: Issues in Past and Current Theory and Research”

Special Lectures II: Prof. Tom Gally (Tokyo University)

“Machine Translation and English Education”

(to be presented in Japanese)

Invited Symposium: Yasunori Nishina (Kobe Gakuin University), Masahiro Yoshimura (Setsunan University), Yasuhiro Fujiwara (Meijo University), Tomohito Hiromori (Meiji University), Yoshihito Kamakura (Aichi University), Ryo Kirimura (Ritsumeikan University), Yusuke Yoshikawa (Kindai University)

“Utilizing Movies or Making Movies?: A New Approach to Improving College Students’ Understanding and Motivation in English Class”

Lunch Meeting for Paper Acceptance hosted by JACET Kansai Journal Committee

5 research papers, 9 practical reports, 1 poster presentation, 1 Colloquium

*Please see the enclosed program for details.

Reservation for Conference Party

Date/Time: Saturday, November 17, 18:30-20:30

Venue: Kwansei Gakuin Hall, Tsubasa no Ma

Fee: 3,000 yen if booked by Wednesday, November 7

(to be collected at check-in on site)

4,000 yen if purchased on site

Reservation: Please access the URL or QR code given in the enclosed program and submit the online “Conference Party Preregistration Form”.

We look forward to seeing you all there!

■2018 年度第 3 回支部講演会のお知らせ■

2018 年度第 3 回支部講演会は、下記の通り、教材開発研究会による講演会を予定しています。皆さまのご参加をお待ちしております。

1. 日時：2019 年 3 月 9 日（土）15:30～17:00（予定）

2. 場所：関西学院大学梅田キャンパス 1405 教室

3. テーマ：講演会

「PBL（問題解決型学習）を目指した英語教材開発」

4. 講師と演題：

<ゲストスピーカー>

池田 光穂 先生（大阪大学）

<司会・スピーカー>

教材開発研究会

赤尾 美和 先生（近畿大学）、西垣 佐理 先生（近

畿大学）松田 紀子 先生（藍野大学）

5. 概要：JACET 教材開発研究会では、よりコミュニケーションで自律性のある学習者を育成すべく、様々なターゲットスキルを養成する大学英語教材開発を、理論と実践の面から行ってきました。近年、知識詰め込み式の教師主導型から、学生自らが考え他者と協力しながら学習する学生主導型のアクティブラーニングへと授業形態の変遷も顕著であります。そこで、当研究会では、学生の思考力と発信力を鍛えるべく PBL(Problem-Based Learning)をテーマにした教材開発に取り組むことになりました。現在、PBL サイクル（池田、2016）と呼ばれる学習プロセスに基づいた PBL 教材を、鋭意作成中です。本講演会では、PBL を高度教養教育の観点から研究・実践されている大阪大学の池田光穂先生に PBL の理念とその可能性についてご講演いただきます。その後、当研究会が作成中の PBL 教材の枠組みとサンプルユニットを紹介します。学生を「学習者」から「探求者」へと導く PBL は、教材開発において限りない可能性を秘めていると考えます。

6. 参加費：JACET 会員は無料、非会員は 500 円。事前申込不要

7. 使用言語：日本語。質疑応答は日本語・英語どちらでも可

8. 茶話会：講演会後に茶話会（ノンアルコール、1 時間程度）を予定

Kansai Chapter Third Lecture Meeting of AY 2018

The Kansai Chapter Third Lecture Meeting of the 2018 academic year will be held as follows:

1. Date: Saturday, March 9, 2019, 15:30–17:00

2. Venue: Kwansei Gakuin University, Umeda Campus

3. Title: Application of Problem-Based Learning to English Materials

4. Speaker: Mitsuho IKEDA (Osaka University)

MCs & Discussants: The Study Group for Materials Design and Development

Miwa AKAO (Kindai University)

Sari NISHIGAKI (Kindai University),

Noriko MATSUDA (Aino University)

5. Abstract: The Materials Design and Development SIG has developed many theoretical and practical English textbooks for Japanese college and university students in order to foster learner autonomy and communicative competence. Recently there has been a shift in teaching methodology from teacher-centered, which is the cramming system of education, to student-centered such as Active Learning, collaborating with others, and

autonomous learning. To reflect these changes in pedagogy, our study group started developing PBL-themed materials to improve learners' critical thinking and communication skills. Presently we are creating some sample units for a textbook based on the learning process called PBL cycle (Ikeda, 2016). In this presentation, Professor Mitsuho IKEDA from Osaka University, who researches and practices PBL in the context of liberal arts education in universities, will first talk about the PBL doctrine and possible practical applications of PBL in EFL materials design. Then the Materials Design and Development SIG will introduce the framework and a few sample units of the textbook we have been working on. We believe that there are endless opportunities to use PBL, which transforms learners into explorers, in materials design and the development of the Japanese EFL education.

6. JACET member, free; nonmember, ¥500. No need to pre-register
7. Main language for presentation: Japanese, but Q&A can be in Japanese or English.
8. Party: Please join us for a one-hour gathering with soft drinks and light snacks after the lecture.

Details are available on the Kansai Chapter website (<http://www.jacet-kansai.org/meeting.html>).

■ 事務局より ■

Messages from the Kansai Chapter Office

今年の支部大会は、11月17日(土)、関西学院大学上ヶ原キャンパスで行われます。キャンパスは緑で溢れています。11月中旬には、紅葉が見られるかもしれません。もちろんプログラムの内容も充実しており、例年以上に、多くの発表、講演等が予定されています。ぜひお越しください。

10月初旬に全ての会員の皆さまのお手元に、本部事務局から「2019年度～2020年度社員選挙の実施について－立候補及び他薦の募集－」の文書が届いたと思います。これに基づき自薦・他薦を問わず、本学会の「社員」にふさわしい方をご推薦頂いたことに御礼申し上げます。ご推薦を踏まえ、600人に近い会員数を誇る関西支部からは20名の社員が選出されます。12月に「社員選出に関する公示」を行い、「異議申し立て期間」を経て、来年に入ってから「社員の選出結果公表」となります。選出された先生方には、来年度から2年間にわたり本学会の「社員」にご就任をいただきます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、JACET 関西支部の本年度の行事も、支部大会と第3回支部講演会を残すのみとなりました。どち

らも奮ってご参加ください。

■ 会員情報の変更 ■

支部事務局からのご連絡のメールが、宛先不明等で数多く戻って参ります。今一度、JACET 本部事務局にご登録のメールアドレスをご確認ください。

紀要、講演会案内フライヤー、ニューズレターなどのお届けに支障が生じるおそれがございますので、ご所属先や郵送先住所情報についても、再度ご確認ください。

会員情報(住所、メールアドレス、所属、電話番号など)が変わられた方は、**必ず本部事務局(jacet@zb3.so-net.ne.jp)まで**ご連絡ください。なお、関西支部では名簿の作成・修正・管理は行っておりません。

Please immediately report any changes in your address, affiliation, e-mail address, telephone numbers, and other information to **the JACET Main Office (jacet@zb3.so-net.ne.jp)**.